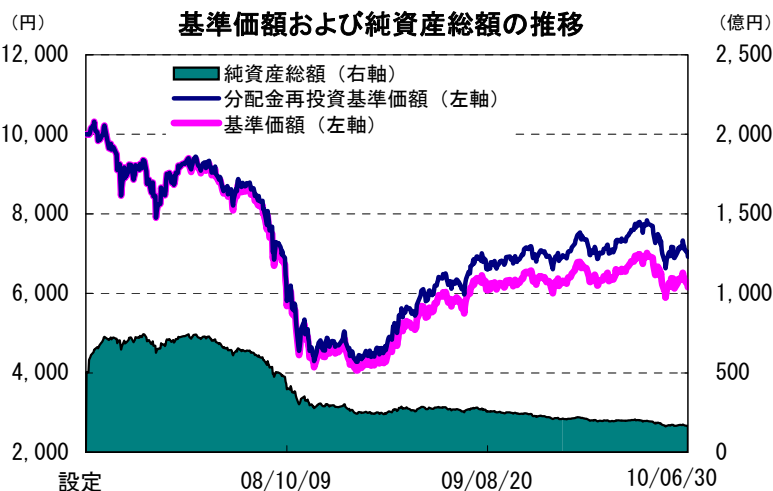




日興・スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2010年6月30日



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2017年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休日の場合は翌営業日)

基準価額	6,153円
純資産総額	164.33億円

ファンドの資産配分	
PMA・アジア・ミドルイースト・ファンド	96.5%
スパークス・マネー・マザーファンド	1.3%
現金等	2.2%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			-104円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	28円
		中東地域	87円
	為替		-163円
	その他		-56円

* 基準価額は信託報酬(年率1.89775%(税抜1.855%)程度)控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-1.47%	-8.10%	-3.30%	10.82%		-30.84%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期
	08年1月	08年3月	08年5月	08年7月	08年9月	08年11月	09年1月	09年3月	09年5月	09年7月	09年9月	09年11月	10年1月	10年3月
分配金	-	-	65円	65円	65円	65円	65円	65円	45円	45円	45円	45円	45円	45円

決算期	第15期	累計
	10年5月	
分配金	45	705円

ポートフォリオの配分

地域・国別配分

地域	国名	比率	比率
アジア太平洋	中国	20.6%	78.8%
	オーストラリア	17.5%	
	韓国	15.1%	
	台湾	10.1%	
	その他	15.5%	
中東	UAE	3.6%	10.9%
	サウジアラビア	2.2%	
	カタール	2.1%	
	モロッコ	1.7%	
	その他	1.3%	
現金等	-	10.3%	10.3%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

通貨	比率
1 香港・ドル	30.2%
2 オーストラリア・ドル	17.5%
3 韓国・ウォン	15.1%
4 台湾・ドル	10.1%
5 アラブ首長国連邦ディルハム	3.6%
その他	23.5%
合計	100.0%

業種別配分

業種	比率
1 金融	32.5%
2 資本財	18.1%
3 電気通信サービス	12.6%
4 一般消費財	11.2%
5 情報技術	4.6%
その他	21.0%
合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* PMAの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はPMA・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

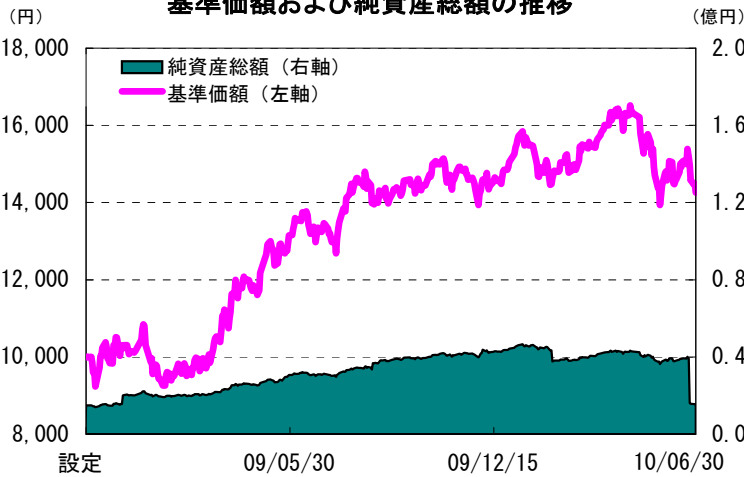
■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。



日興・スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2010年6月30日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬(年率1.89775%(税抜1.855%)程度)控除後の値です。
信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-3.34%	-10.09%	-5.24%	7.71%		42.64%

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万円当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2017年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	14,264円
純資産総額	0.15億円

ファンドの資産配分	
PMA・アジア・ミドルイースト・ファンド	78.9%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.1%
現金等	21.0%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			-493円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	58円
		中東地域	183円
	為替		-344円
	その他		-390円

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第1期	-	-	-	-	-	-	-	-	累計
	09年11月	-	-	-	-	-	-	-	-	
分配金	0円	-	-	-	-	-	-	-	-	0円

ポートフォリオの配分

地域・国別配分

地域	国名	比率	比率
アジア太平洋	中国	20.6%	78.8%
	オーストラリア	17.5%	
	韓国	15.1%	
	台湾	10.1%	
	その他	15.5%	
中東	UAE	3.6%	10.9%
	サウジアラビア	2.2%	
	カタール	2.1%	
	モロッコ	1.7%	
	その他	1.3%	
現金等	-	10.3%	10.3%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

通貨	比率
1 香港・ドル	30.2%
2 オーストラリア・ドル	17.5%
3 韓国・ウォン	15.1%
4 台湾・ドル	10.1%
5 アラブ首長国連邦ディルハム	3.6%
その他	23.5%
合計	100.0%

業種別配分

業種	比率
1 金融	32.5%
2 資本財	18.1%
3 電気通信サービス	12.6%
4 一般消費財	11.2%
5 情報技術	4.6%
その他	21.0%
合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* PMAの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はPMA・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことで、
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことで、

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。



日興・スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2010年6月30日

組入上位銘柄

組入銘柄数	44
-------	----

NO	銘柄名	Pnote	国名	業種	組入比率	配当利回り
1	KANGWON LAND INC	*	韓国	一般消費財	6.5%	5.1%
2	ZHEJIANG EXPRESSWAY CO-H		中国	資本財	6.3%	4.9%
3	CHEUNG KONG HOLDINGS LTD		香港	金融	4.1%	3.0%
4	CONNECTEAST GROUP		オーストラリア	資本財	4.1%	5.3%
5	TABCORP HOLDINGS LIMITED		オーストラリア	一般消費財	3.5%	13.4%
6	LINK REIT		香港	金融	3.5%	4.8%
7	CHINA PETRO CHEM		中国	エネルギー	3.5%	3.3%
8	COSCO PACIFIC LIMITED		中国	資本財	3.2%	2.6%
9	TELSTRA CORP LTD		オーストラリア	電気通信サービス	2.8%	12.8%
10	ETIHAD ETISALAT CO	*	サウジアラビア	電気通信サービス	2.2%	2.6%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
* 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

* 比率はPMA・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア太平洋	銘柄名	Pnote	国名	銘柄概要
1	KANGWON LAND INC	*	韓国	カンウォン・ランドはカジノ、ホテルを運営。ゲーム・娯楽施設建設も手掛ける。テーブルゲームやスロットマシンを国内外の顧客向けに提供。
2	ZHEJIANG EXPRESSWAY CO-H		中国	セッコウ・エクスプレスは道路建設・管理会社。子会社を通じ、上級道路の設計、建設、運営、管理に従事。テクニカル・コンサルティング、広告、自動車関連サービス、給油施設などの補助サービスも開発、運営。
3	CHEUNG KONG HOLDINGS LTD		香港	長江実業は不動産会社。子会社を通じ、不動産開発ならびに不動産投資を行う。不動産仲介業務、不動産管理サービス、ホテル経営、証券投資も手掛ける。
4	CONNECTEAST GROUP		オーストラリア	コネクトイースト・グループは道路工事・管理会社。道路、橋梁、トンネルなどのインフラ土木事業に従事。イーストリンクフリーウェイの運営、管理も手掛ける。
5	TABCORP HOLDINGS LIMITED		オーストラリア	タブコープ・ホールディングスは賭博・エンターテインメントグループ。賭博、ゲーム、ホスピタリティおよびメディア事業をオーストラリア各地で手掛ける。主な事業は、ホテル・カジノの運営、賭博、ゲーム。
中東	銘柄名	Pnote	国名	銘柄概要
1	ETIHAD ETISALAT CO	*	サウジアラビア	エティハドエティサラットは、サウジアラビアで移動体通信サービスを広い範囲で提供する。
2	QATAR ELECTRICITY & WATER CO	*	カタール	カタールエレクトリシティ&ウォーターは、電気や淡水化水を生産する。カタールの政府に電気や水を販売している。
3	MAROC TELECOM:	*	モロッコ	マロックテレコムはモロッコ大手の地元電気通信サービス企業。アフリカと中東の電話会社と提携。
4	FIRST GULF BANK	*	UAE	ファーストガルフ銀行は、アブダビに本店を置き、預金業務、法人・個人向け銀行サービスを提供。建設、不動産、住宅、輸出入、農業、個人融資、財務、外国為替サービスを手掛ける。
5	NATIONAL BANK OF KUWAIT	*	クウェート	クウェート国営銀行は商業銀行。国内外に支店を持ち、法人、個人向け銀行サービス、資産運用アドバイザリー業務を手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
* 出所: 各社ホームページ

* 上記はPMA・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
* ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、
* P-NOTEとは、株式や株指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことであり、

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。



日興・スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2010年6月30日

コメント

■ 市場環境

6月のアジアの株式市場は、上旬に上昇したものの下旬に下落に転じ、前月末比では国によってまちまちな結果となりました。上旬は、欧州の財政問題についての懸念が薄れたこと、および、中国が為替政策を変更して人民元の弾力化を進めると発表したことを受けて、株式市場は上昇しました。しかし、グローバル経済の成長鈍化についての懸念により、上昇は持続しませんでした。現地通貨ベースでもっとも株価が上昇したのは、約6%上昇したタイ、約4%上昇したインドおよびインドネシア、約3%上昇した韓国およびフィリピンでした。マレーシア、香港では約2%と小幅な上昇であった一方、中国は約7%、オーストラリアは約3%、台湾は約1%下落しました。中東株式市場も6月を通じてまちまちで、グローバルな株式市場とほぼ同様の傾向となり、上旬は上昇し、下旬は下落に転じました。この株価動向の要因のほとんどはグローバル経済についての問題であり、中東地域独自の要因ではありませんでした。現地通貨ベースで株価が上昇したのは約2%上昇したカタールと約1%上昇したトルコでした。サウジアラビアはほぼ前月末並みの水準でした。一方で下落したのは、約7%下落したドバイ、約6%下落したエジプト、約3%下落したアブダビ、約2%下落したクウェートでした。アジア中東地域の通貨につきましては、6月を通じてほぼ全ての通貨が円に対して下落しました。特に顕著に下落した通貨はエジプトポンド、台湾ドル、フィリピンペソ、韓国ウォン、インドルピー、トルコリラでした。

■ 運用状況

6月の当ファンドは下落しました。アジア株式でプラスに貢献した国、地域は韓国、香港、シンガポールなどでした。一方でもっともマイナスに影響したのはオーストラリア、中国、台湾などでした。アジアの個別の銘柄でパフォーマンスに対してプラスに貢献したのはKangwon Land(韓国/一般消費財)、Link REIT(香港/金融)などでした。一方でTABCorp Holdings(オーストラリア/一般消費財)、Cosco Pacific(中国/資本財)、ConnectEast Group(オーストラリア/資本財)などはパフォーマンスに対してマイナスに影響しました。中東の株式でプラスに貢献した国はクウェートなどでした。一方でマイナスに影響したのはサウジアラビアやアラブ首長国連邦などでした。中東の個別の銘柄でパフォーマンスに対してプラスに貢献したのはNational Bank of Kuwait(クウェート/金融)などでした。一方でRAK Properties(アラブ首長国連邦/金融)、Mobily(サウジアラビア/電気通信サービス)などはパフォーマンスに対してマイナスに影響しました。為替につきましては、日本円がアジア中東地域のほとんどの通貨に対して上昇したため、ファンドのパフォーマンスにはマイナスに影響しました。マイナスの影響が小さかったのは、組み入れ比率が低かったフィリピンペソ、クウェートディナール、カタールリヤルなどでした。一方で、下落の影響が大きかったのは、組み入れ比率が高かった豪ドル、韓国ウォン、香港ドルなどでした。

■ 今後の見通し

マクロ的な観点、個別企業レベルでの観点の双方で、アジアは引き続き世界の他の地域と比べて良好な位置に 있다고考えています。短期的な株価動向は投資家の心情次第で動きますが、マクロ的な観点、個別企業レベルの観点においては、長期的には高いリターンが期待できると考えています。世界の一部で経済成長が鈍化し、低い成長率、あるいはマイナスの成長率となることも想定されますが、一方で、アジア諸国は引き続き高い成長率が続くことが期待されます。加えて、高い経済成長から恩恵を受ける、株主に公正に報いる正しい企業を選別することが重要と言えます。引き続き、中長期的に魅力的なリターンを得ることが期待できる好配当銘柄に注目してまいります。

中東の株式につきましては、これまでグローバル株式市場の影響を受けてきました。今後、特に短期的には、グローバル株式市場との相関関係は続くかもしれませんが、しかしながら、長期的には中東地域の、不景気に対する耐性が強くビジネスの持続性を保つことができる企業が、グローバル株式市場の動向に左右されるのではなく、自社の置かれた状況から恩恵を受けて成長すると期待されます。中東株式への投資にあたり、引き続きファンダメンタルズが好調で魅力的なバリュエーションをもつ好配当銘柄に注目してまいります。

中国が人民元の弾力化を認めた動きから、今後アジアの通貨に対してますます強気な見方が増えてくると思われます。加えて、アジア以外の地域の経済の弱さ及び低金利により、アジア中東地域の通貨に対する魅力は増すものと考えています。従いまして、長期的な立場に立てば、アジア中東地域の通貨は日本円と米ドルに対して上昇すると考えております。

ファンドの特色

1. アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

2. 『隔月分配型』と『資産成長型』の2つの種類をご用意しました。

隔月分配型は、毎年隔月(奇数月、原則10日(休業日の場合は翌営業日))の決算時にはインカム収入を原資として安定分配を目指します。また毎年5月、11月の決算時には、キャピタルゲイン等(為替差益を含む)を原資とした実績分配を行うことを目指します。資産成長型は、年1回(毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日))決算を行います。

隔月分配型と資産成長型は手数料なしでスイッチングが可能です。(換金時と同様の課税上の取扱いとなります。)

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合もあります。

3. SPARXグループの一員であり、アジアのオルタナティブ運用において世界最大級の運用会社であるPMA社が実質的に運用を行います。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。



日興・スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

ファンドのリスクについて

当ファンドは主として外国株式を実質的な投資対象といたしますので、組入株式の価格変動および為替市場の相場変動により、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。主なリスクとしては、下記のものが挙げられます。

■価格変動リスク

当ファンドは、実質的に外国株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

■新興国市場投資リスク

当ファンドは、実質的に新興国市場への投資も行います。新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

■為替変動リスク

当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

■流動性リスク

当ファンドは流動性の低い資産に投資をする場合があります。市場規模や取引量が少ない場合、組入れ銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、重大な損失が生じる場合があります。

リスクの詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お客様にご負担いただく費用について

当ファンドのご購入や運用期間中には以下の費用がかかります。

* 課税関係については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

* 下記手数料等の合計額は、お申込金額や保有期間などに応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■お申込時

お申込手数料率はお申込金額に応じて、以下のように変わります。

1億円未満	3.1500%(税抜3.00%)
1億円以上5億円未満	1.5750%(税抜1.50%)
5億円以上10億円未満	0.7875%(税抜0.75%)
10億円以上	0.5250%(税抜0.50%)

■ご換金(解約)時

換金(解約)手数料、信託財産留保額 ありません。

スイッチング手数料 ありません。(換金時と同様の課税上の取扱いとなります。)

■保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます)

信託報酬: 純資産総額に対して年率0.89775%(税抜0.855%)を乗じて得た額。また組入れる投資対象ファンドの合計純資産に対して年率1.0%程度の費用が投資対象ファンドより負担されますので、実質的に負担する信託報酬等は年率1.89775%(税込)程度となります。

その他費用: 監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、組入れ資産の保管費用・管理費用等を当ファンドならびに投資対象とする外国投資証券より間接的にご負担いただきます。

※その他費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。



日興・スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

お申込みメモ お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

商品分類	追加型投信/海外/株式
お申込単位	(新規申込)10万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位 (スイッチング申込)1万円以上1円単位(全額スイッチング申込)1円以上
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日が香港の証券取引所および銀行の休業日、英国の証券取引所および銀行の休業日、ケイマンの銀行の休業日等の場合は、取得のお申込の受付(スイッチングを含みます。)は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	平成29年11月10日まで
決算日	(隔月分配型)毎年1月・3月・5月・7月・9月・11月の各10日(休業日の場合は翌営業日) (資産成長型)毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	(隔月分配型)毎決算時に安定した分配を継続的に行うことを目指します。 また、5・11月は基準価額の水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託会社が決定する額を付加して分配を行う場合があります。 (資産成長型)分配金額は委託会社が基準価額水準、市場動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が小額の場合には分配を行わない場合があります。 ※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。 分配金のお受取りをご希望される場合、販売会社の定める所定の日よりお支払いいたします。
ご解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額
ご解約不可日	解約請求受付日が香港の証券取引所および銀行の休業日、英国の証券取引所および銀行の休業日、ケイマンの銀行の休業日等の場合は、ご解約のお申込の受付(スイッチングを含みます。)は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して7営業日目からお支払いいたします。

ファンドの関係法人

◇委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(加入協会)(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会

◇受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社

(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

◇販売会社 日興コーディアル証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号
(加入協会) 日本証券業協会 (社)日本証券投資顧問業協会 (社)金融先物取引業協会

【お問い合わせ先】

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/>

電話番号:03-5435-8200(受付時間:営業日9:00~17:00、半日営業日9:00~12:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。